

ディプロドクス全身骨格の設置について

1 経緯

ディプロドクスはモリソン層を代表する大型の草食恐竜で、ワイオミング州、ユタ州、ニューメキシコ州などのバッドランドから 1870 年代以降たくさんの骨化石が見つかっています。竜脚類の中でも詳しく研究されている恐竜で、全長は最大で 30m に達したと推定されています。

ディプロドクスが生息していた後期ジュラ紀（モリソン層の時代）の北アメリカには、カマラサウルス、アパトサウルス、ブラキオサウルスといった大型の竜脚類がいくつも存在していました。歯の化石の研究からディプロドクスは主に柔らかい植物を食べていたことが分かっています。

今回、北アメリカ大陸の恐竜をテーマに開催する特別展の「巨人たちの大陸」ゾーンの目玉として展示し、迫力ある演出を行います。

なお、この標本は全長約 25m あり、当館展示史上最長となります。

2 展示標本

- (1) 学名 *Diplodocus carnegii* (ディプロドクス・カーネギー)
- (2) 分類 竜盤類 竜脚類 ディプロドクス科
- (3) 時代 中生代 後期ジュラ紀 (約 1 億 5,300 万年前)
- (4) 地層 モリソン層
- (5) 産地 アメリカ合衆国ワイオミング州
- (6) 全長 約 25m
- (7) 所蔵 東海大学海洋学部博物館
- (8) 標本番号 NHMTU-V-23